

世界の終わりという名の雑貨店 (2001)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

時間 94分

初公開日 2001/11/17

公開情報 松竹

【キャッチコピー】

ささやかな日常を破綻なく継続させるため、
何かを削り取っていく、
希望を抱かぬのは
絶望を恐れているせいだろうか。

【解説】

その端正な文体と少女漫画に通ずる独特の世界観から“乙女のカリスマ”とも称される嶽本野ばらのデビュー短編集に収められた同名小説を、西島秀俊主演で映画化した切ない純愛物語。監督はこれがデビュー作の濱田樹石。真行寺君枝、川合千春、松尾スズキ、名古屋章といった個性派&ベテラン俳優が脇を固める。

どうしても現実と上手く折り合いをつけられない情報誌ライターの雄高は、自分だけの世界を築くかのように雑貨店を始める。ある日、そこへファッション雑誌から抜け出たような少女・胡摩がやってくる。周りの友だちにも家族にも自分をわかってもらえず、周囲に埋めようもない距離を感じていた胡摩。お気に入りの服を着て自分を表現することでなんとか心のバランスを保っていた。店にただ入り浸る胡摩に、やがて雄高は自分と同じものを感じる。二人にとってこの店は世界で唯一の居場所になる。しかし、社会を生きられない二人が一緒になることはあまりにも困難だった。

【クレジット】

監督 濱田樹石

原作 嶽本野ばら (小学館刊『ミシン』収載)

脚本 濱田樹石

鷺見剛一

撮影 大橋仁

出演 西島秀俊 島尾雄高

高橋マリ子 水野胡摩

真行寺君枝 胡摩の母親

益富信孝 マスター

川合千春 美女

内田滋啓 田島

加藤夏希 金井いずみ

菊池亜衣 倉橋緑

小泉絵美子 増田百合子

派谷恵美 古井茜

清水ゆみ 夏目美香

太田瞳 酒井ゆきえ

悠美 マヌカン

長澤瞳	少女
金守珍	石川の息子
絵沢萌子	マダム
森崎東	映画監督
浦田賢一	俳優
松尾スズキ	探偵
名古屋章	ナニさん
今福将雄	石川